令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮国際中等教育学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	全体教科会・各教科会を通じて、学ぶ意義の共有と学びのつながりに関する共通理解が十分に深まった。次年度は、本校の探究的な学習活動をさらに確信を持って推進するとともに、各単元の学ぶ意義が生徒の学びに与える影響を質的にも分析していく。
思考・判断・表現	学校研究を核としながら校内研修を充実させ、全教職員が各単元の学ぶ意義や目指す学習者像を共有できた。次年度も校内研究と連携し、授業見学の充実や探究的な授業のさらなる改善を図っていく。

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】 日々の学習と総括的評価課題の関連性が不明確な場合がある。 【指導上の課題】 授業と単元終了時の総括的評価課題のつながりについて、全教員の共通理解が図れていない。	⇒ 全体教科会・各教科会を通じて、単元ごとの学習の意義や身につけるべき知識・技能を定期的に確認し、共通理解を図る【隔週実施】。
思考・判断・表現	【学習上の課題】 学校教育目標やIBの学習者像を適切に考慮した学習が十分に行われていない。 【指導上の課題】 教職員数の増加に伴い、探究学習の理解に差が生じ、学習の効果を十分に発揮できていない。	⇒ 校内研修等を通して、各単元を学ぶ意義や目指す学習者像を共有し、全教員が探究学習の計画及びその指導を行うことで生徒の思考・判断・表現力を高める【毎月実施】。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能	A	学ぶ意義の共有に関するアンケートに対する肯定的な回答割合は教職員92%、生徒88%であった。全体教科会・各教科会を隔週で実施し、多くの授業において単元を学ぶ意義を教師・生徒の間で共有することが定着しており、生徒もそれを実感として感じることができている。
思考・判断・表現	A	毎月の校内研修の他、希望者対象校内研修を10回以上実施した。校内研修および校内OJTの参加者事後アンケートにおける肯定的回答(満足度、実用度等)は80%以上であった。新任者にとっては負担もあるが、多くの教員が肯定的に捉え、質の高い学びの機会が確保されている。

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	国語および数学の全体的な平均正答率は、全国平均を大きく上回っているが、数学の「図形」領域において、「筋道を立てて考え、証明する問題」に関して、正答に必要な部分については記述があるものの、根拠が抜けていたり、根拠の表現が十分でないなど、軽微な課題が見受けられた。また、この問題に関しては、無回答率が最も高かった(7.3%)。引き続き、解答プロセスを丁寧に説明する学習活動を強化していく。
思考・判断・表現	国語および数学の平均正答率は、全国平均を大きく上回っており、特に「書くこと」(本校平均正答率90.1%)および「記述式問題形式」(国語・数学共に全国平均正答率を約35ポイント上回る)において顕著な成果が見られた。これは、本校の探究的かつ概念的な学習指導の成果が反映されたものと考えられる。また、「学級の友達との話し合いを通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか」という問いに対する肯定的な回答の割合が94.8%であったことから、対話的・協働的な学びの活動機会が十分に確保され、その成果が表れていると考えられる。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)
- ③分析共有(児童生徒の実態把握)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	全教科の平均正答率は全国平均を大きく上回り、特に言語技能の正答率が高かった。「粒子」を柱とする領域では、データ分析や計算の正答率が市平均を6ポイント上回った一方、理科用語の整理がやや不足していたが、6年間の学習で補える範囲であり、大きな課題とはならない。知識・技能分野においても、6年間の学習活動を通じて十分に習得・定着できる。
思考・判断・表現	全教科の平均正答率は全国平均を大きく上回っており、本校の探究的かつ概念的な学習指導の成果が反映されている。また、「学ぶことや働くことの意義を考えたり、学校での学びと将来のつながりを意識したりしていますか」という問いに対し、肯定的な回答が84.9%に達したことから、キャリア教育と学校での学びが結びつき、その成果が表れていると考えられる。

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	A	隔週で実施する全体教科会にて、各教科の実践を共有し、教科毎の研究計画やその進捗状況について、教科間でも相互に確認できている。	変更なし
思考・判断・表現	A	自由参加も含め、校内教員研修は現在までに毎月2回以上行われている。全校集会で授業や課題への取組および提出等に関する方針について共有し、教員・生徒の理解を深めている。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)